

問 儲かる林業と再生を

答 林業再生に取り組む

春名 哲夫 議員

問

市長は林業の再生なくして宍粟の将来展望は開けない保全する林業から儲かる林業を目指すと言われ私も賛成し敬意を表する。そんな本年度は、しそ材の共同販売施設や施設借上げに予算計上があります。どの場所でどんなシステムを考えられているか。

市長

林業再生に取り組む、新しい木材の産地化を図るため、素材生産から最終製品までバランスのとれた総合的な仕組み作りを取り組んでいる。どうしても林業の活性化がないと宍粟の活性化がないと思いで共同展示施設を、宍粟市内に1カ所、神戸市内にも設置する協議を

している。

問

今年度から納める県民緑税は市から県にいくら納める予定か、又県から市に対して交付（還元）される事業の内容と金額は。

産業部長

緑の保全体でささえるものであり宍粟市内個人納税は1,677万円、法人からは540万円を見込んでいます。又交付予定事業は、緊急防災林整備に2,400万円、混交林整備に3,000万円、里山防災林整備に2,200万円等があります。



問 公共交通を早期に

答 交通プロジェクトの報告を待って出来る事から

岡田 初雄 議員

問

旧山崎町は、民間バス路線の廃止による対策として、もしバスの運行を実施しました。バスの運行はあつもの、その便数は少なく、民間バスにのみ頼られる市民の皆様は、動く事への不便を感じられています。もしもしバスは、1年の検証の後、全市を対象に考えたいとありましたか。

市長

交通システムプラン策定プロジェクトの報告を待っています。民間バス赤字路線に対する県の補助金や、バス路線以外の地域も含め、充分検討をします。

問

地域連携道路の整備は、市民生活

を緊密にする点から重要であり、他市町、県を越えて取り組むべきと考えます。

市長

生活道を最優先に整備をしたい、国県へ陳情します。

問

農業も農業経営の時代になりました。各自治会の農業組織の強化、その為の支援が望まれますか。

産業部長

地域担い手育成総合支援協議会で支援します。

農業委員会事務局長

担い手支援協議会の一員でもあり、市、産業界と連携を密にし組織強化に努めます。

問 滞納徴収の取り組みは

答 徴収強化期間の設定を計る

田中 鶴雄 議員

問

広報等で税の滞納額が報道された滞納対策と収納状況についてお伺い致します。

助役

電話とか戸別訪問して納税を促している。悪質者に対しては強制執行している。又、生活困窮者については執行停止している。

問

滞納整理の状況についてお伺いします。

総務部長

債務等差押えとして 預貯金40件1,200万円 国税還付金79件390万円 給与37件344万円 不動産2件(家屋土地)。

問

平成17年度(現年)滞納額と収納について実態を聞きたい。

総務部長

最終的な集計は只今計算中であるが、現年分は約8,000万円程度である。5月11日より月末までを徴収強化月間と位置付け税務職員と総務部管理職員及び市民局、税務担当者が、△△を組む、戸別訪問、電話催告、納付書送付等により、収納向上に取り組み、期間中の滞納徴収額約1,500万円収納した。

問

今後の取り組みと方向性は。

総務部長

あらゆる機会を通じて納税意識の向上を図っていく。税は何に使われているのか、納めなければならぬ道理等を解く。強化月間を設定して収納を高めていく。